

土木学会論文報告集

Proceedings, JSCE

No. 288 1979-8

論文

溶接I形断面部材の残留応力の推定に関する研究 近藤明雅 1
日隆洋文一
菊浦池

縦横に補剛された圧縮板の極限強度に関する実験的研究 小牛松定夫 13
北奈尾田正之 行俊
奈良田良敬

網目状シェル構造物の静的ならびに準静的安定に関する研究 福本勝士 29
水野英二

薄板で構成される立体構造の弾塑性・大変位離散化要素解析法 吉田裕紀 41
増田陳隆松田

積分方程式法による表面クラック周辺の応力解析 小西昭志 57
林村直志

ワイヤラッピングされた吊橋平行線ケーブルの二次応力解析 中村市徹 67
新家村昭

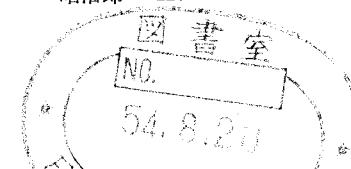
湾口部のエネルギー損失を考慮した湾水振動の解析 村上仁三 83
野口英三

自由噴流型と純循環流型の離岸流 佐々木幹夫 95
尾崎晃

波によって生じる砂漣近くの流れのモデル化と浮遊砂濃度の算定法 沢山正樹 107
本口清一

地下式原子力発電所の想定事故時における核種の地中格納効果 駒林広也 115
の評価手法

海底砂地盤の掘削とその応用 畠昭治郎 127



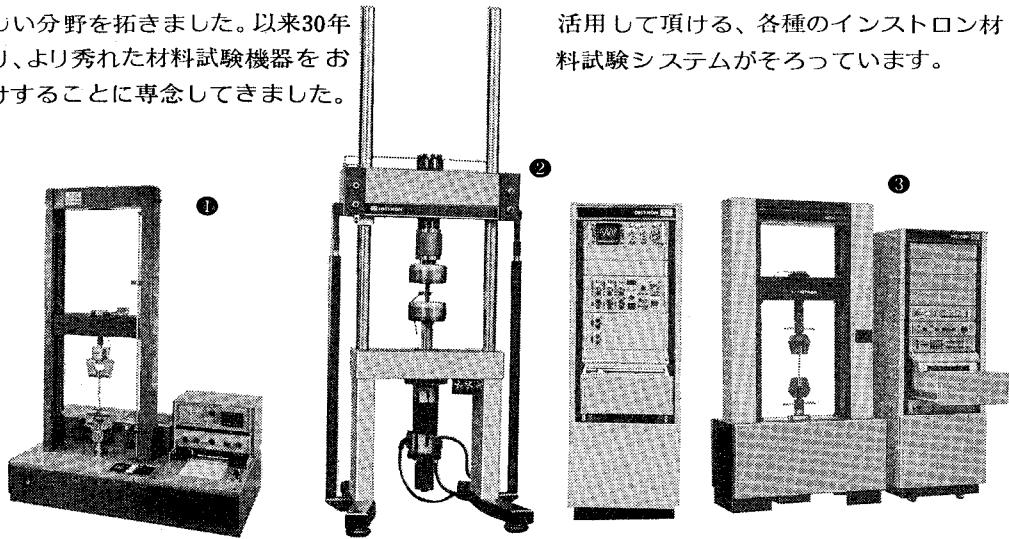
30年間

MARKING 30 YEARS LEADERSHIP

世界の材料試験機をリードしてきました。

1946年、インストロンが誕生。負荷機構・測定方式とも電子技術を採用した、定速伸長型精密万能試験機として、材料試験の新しい分野を拓きました。以来30年余り、より秀れた材料試験機器をお届けすることに専念してきました。

今日、ますます発展し多様化する複雑な材料試験の要望に応え、材料の基礎研究から品質管理・実働シミュレーションまで幅広く活用して頂ける、各種のインストロン材料試験システムがそろっています。



インストロン材料試験システム

①インストロン1130シリーズ万能試験機は、どなたにも手軽に使える（普段着のインストロン）。荷重容量500kgから10tまであります。

②新しいインストロンの油圧サーボ式試験システム1320／1330シリーズ。安全で容易な操作・静かな運転音・高い信頼性に重点をおいた新設計。低・高サイクル疲れ、シミュレーション、熱疲労、引張・ねじり複合、高速引張など広い応用範囲を持っています。

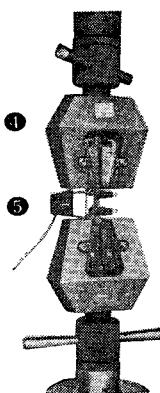
③静的試験機の最高峰を極めたインストロン1120シリーズ。水晶発振器とアナログ閉ループサーボで制御される高精度の

試験速度をはじめ、IC化されたコンピュータ・コンパチブルの電子回路等々、最新の技術を結集しています。

荷重容量500kg～50t

①材料試験技術の一部門とは云え、グリップの優劣は試験の結果を大きく左右します。定評あるインストロンのグリップは、種類が豊富なことと、独特の作動方式とによって、あらゆる材料の精密な試験に役立っています。

③インストロン独自の標点間伸び計は、高感度・高精度に加えて小型軽量、その上高温でも使えます。



このほか、キャビラリー・レオメータ、温度槽など各種の付属装置にも、この道30年の技術の蓄積が活かされています。



インストロン・ジャパン株式会社

INSTRON

極東支社 103 東京都中央区日本橋箱崎町18-10(東成ビル) 03-669-0011
大阪営業所 531 大阪市大淀区中津1丁目13-13(西川ビル) 06-371-8154

PROCEEDINGS OF THE JAPAN SOCIETY OF CIVIL ENGINEERS

No. 288 August 1979

CONTENTS

| | |
|---|-----|
| A Study on the Estimation of Residual Stresses in Welded I-Sections <i>By Akimasa Kondo, Takafumi Hiura and Yoichi Kikuchi</i> | 1 |
| An Experimental Study on the Ultimate Strength of Orthogonally Stiffened Plates under Uniaxial Compression <i>By Sadao Komatsu, Masayuki Ushio, Toshiyuki Kitada and Satoshi Nara</i> | 13 |
| Static and Quasi-Static Stability and Imperfection Sensitivity of Reticulated Shells <i>By Yuhshi Fukumoto and Eiji Mizuno</i> | 29 |
| A Discrete Element Approach to Elastic-Plastic Large Displacement Analysis of Thin Shell Structures <i>By Yutaka Yoshida, Nobutoshi Masuda and Takashi Matsuda</i> | 41 |
| Stress Analysis Around a Surface Crack by the Integral Equation Method <i>By Shoichi Kobayashi and Naoshi Nishimura</i> | 57 |
| Secondary Stress Analysis on Wire-Wrapped Parallel Wire Cable for Suspension Bridges <i>By Ken-ichi Nakamura, Tohru Shinke and Akira Nishimura</i> | 67 |
| Analysis of Harbor Oscillations with Energy Loss at a Harbor Entrance <i>By Hitoshi Murakami and Eiji Noguchi</i> | 83 |
| Rip Currents of Free Jet Type and Regular Circulation Type <i>By Mikio Sasaki and Akira Ozaki</i> | 95 |
| Theoretical Modeling on Wave Entrainment of Sand Particles from Rippled Beds <i>By Masaki Sawamoto and Seiichi Yamaguchi</i> | 107 |
| Numerical Method on the Underground Containment of Fission Products at a Hypothetical Accident in Underground Nuclear Power Plant <i>By Hiroya Komada and Masao Hayashi</i> | 115 |
| Cutting of Sandy Sea Floor and Its Application <i>By Shojiro Hata</i> | 127 |

Japan Society of Civil Engineers

Yotsuya 1-chome Shinjuku-ku Tokyo 160

JAPAN